

A 多数決の前に

基礎～標準 1 | 解答・解説

記述は、表現が違っていても必要な内容と全ての条件を満たせば正答です。別解・許容欄は内容や言い換えの基準を示しています。

問1 論点

答え：イ

解説 ①の問いを②～⑤で検討している。公園は例であり、目的は全員の気持ちを一致させることではない。

問2 反対意見 23字

答え：少数の意見を聞いていたら、いつまでも決まらない

解説 ③の冒頭で、筆者が想定する反対意見として示されている。かぎかっこは含めない。

問3 具体例の役割

答え：ア

解説 雨の日の移動という実施上の問題を知らせる例である。場所の変更や公園案の取り下げは本文に書かれていない。

問4 譲歩と応答

答え：ウ

解説 「確かに」で心配を認め、「だが」で聞くことと採用することを区別し、修正による対応へ進む。

A 多数決の前に

基礎～標準 1 | 解答・解説 | つづき

問5 理由説明 解答例 43字

解答例：聞いた意見をすべて採用するのではなく、問題を修正し、好みの違いは投票で決められるから。

解説 ③の「すべて採用することは違う」と、④の修正・投票という役割分担を結び付ける。

別解・許容 全員の採用や同意を目指さないことを明示しなくても、実施上の問題は修正し、残る違いは投票で決めるという内容から伝わればよい。

問6 主張の範囲

答え：ア

解説 ④が判断の順序を示す。少数意見の無条件採用、票の多さと問題の少なさの同一視、決定の先延ばしはいずれも本文とずれる。

問7 批判的な読み 解答例 47字

解答例：少数の意見は修正の材料であり、好みの違いが残る部分は投票で決められるという考えを落としている。

解説 筆者は多数決を禁止していない。③④⑤をつないで、少数の意見を聞く目的と、その後の投票の役割を示す。

別解・許容 少数意見を拒否権のように扱っている点を指摘してもよい。修正後に投票を使えることも示す。

問8 主張をまとめる 解答例 55字

解答例：多数決では賛否の理由を確かめ、少数の意見を問題の修正に生かしたうえで、残る好みの違いを票で決めることが大切だ。

解説 ④の手順と⑤の主張をまとめる。「多数決は便利だ」だけでは、どう使うかが不足する。

別解・許容 少数意見を聞く目的を見落としの防止と説明してもよい。理由を確認し、修正したうえで投票を使う関係を保つ。

B 貸し傘を続けるには

基礎～標準 2 | 解答・解説

問1 中心的な主張

答え：ウ

解説 ①は「厳しくする前に」と順序を示す。罰則中心でも、気持ち任せでもなく、守りにくい仕組みを調べる主張である。

問2 事実と解釈

答え：イ

解説 返却割合が上がったことは本文中の観察結果で、原因を返しやすさに結び付ける部分は解釈である。ウとエは、本文にない事実を含む。

問3 根拠の限界

答え：エ

解説 ④で、雨の日の数や利用者が違うと述べる。変更以外の条件も違うため、原因を一つに限定できない。

問4 指示内容 8字

答え：故意に返さない人

解説 ⑤の「その可能性」は、直前にある故意に返さない人がいる可能性を受ける。「への対応」は人を表す言葉に含まれない。

B 貸し傘を続けるには

基礎～標準 2 | 解答・解説 | つづき

問5 反対意見への応答 解答例 54字

解答例：まず返しにくい原因を減らし、その後も残る問題に合った対策を選べばよく、全員に余分な手間を求めるべきではない。

解説 ⑤は故意の未返却を否定せず、全員の手間を増やす対策を最初を選ぶことを問い直している。

別解・許容 返しにくさの改善を先に行い、残る問題への対策を後に選ぶ順序があれば、言い換えてよい。

問6 追加の根拠

答え：ウ

解説 前後を継続して比べ、結果に影響する条件も残せる。アは変更前がなく、イは満足度だけで返却行動が分からず、エは学校の条件や借りた本数がそろわない。

問7 慎重な言い方 解答例 46字

解答例：試した前後で雨の日の数や利用者が違い、返却割合の上昇が返却場所の変更によるとは限らないから。

解説 ③の割合の変化を、④で挙げられた条件の違いと結び付ける。効果が「ない」と言っているのではない。

別解・許容 条件の違いを一般的な表現に置き換えてよい。他の条件の影響があり、変更だけの効果とは断定できないという関係を保つ。

問8 全体の主張 解答例 66字

解答例：共同で使う物のきまりは、厳しくする前に守りにくい原因を調べて仕組みを直し、その効果を確かめながら、残った問題に合う対策を選ぶべきだ。

解説 ①の主張に、④の効果の確認と⑤の段階的な対策を合わせる。⑥の本数を数える方法だけでは要旨にならない。

別解・許容 共有物、守りやすい仕組みなどの言い換えを認める。貸し傘だけでなく、一般的なきまりの考え方としてまとめる。

C 名前のない意見

発展・応用 | 解答・解説

問1 二つの見方

答え：ア

解説 ①は記名の利点と、書きにくい人がいることの両方を示す。匿名でも事実確認はでき、記名の提案に改善案が少ないとは述べていない。

問2 例と根拠

答え：ウ

解説 列の長さや待ち時間は、観察や利用者への聞き取りで確かめられる。詳しい文章であることや名前があることだけでは正しさの根拠にならない。

問3 主張の位置

答え：イ

解説 ③で提案を述べ、受け取る、根拠を調べる、対策を判断するという手順を示す。⑥は貸し出しへの適用例である。

問4 反対意見への応答

答え：エ

解説 匿名を退けた場合に見えなくなる問題にも触れ、表現の扱いと内容の検討を分けている。匿名の意見をそのまま掲示する主張ではない。

C 名前のない意見

発展・応用 | 解答・解説 | つづき

問5 理由説明 解答例 55字

解答例：匿名の意見は問題を見つける手がかりにはなるが、書かれた状況が事実かは、観察などで根拠を確かめる必要があるから。

解説 ②の「手がかり」と③の事実として認める手順を結ぶ。匿名だから誤りだとも、具体的だから正しいとも言い切れない。

別解・許容 投書を調査の出発点と表現してもよい。受け取ることと、根拠を確認して事実と認めることを区別する。

問6 根拠の適切さ

答え：ア

解説 実際の混雑と利用時間への影響を確認しているので、待ち時間への対策を検討する根拠になる。意見の枚数、全投書の中の多さ、提案者の姿勢だけでは状況を確かめられない。

問7 根拠の限界 解答例 52字

解答例：意見箱は言いにくい問題の発見には役立つが、同じ人が何度も書けるので、賛成者の割合は別に調べる必要がある。

解説 ⑤では、問題の発見と賛成者の割合の測定を区別する。投書の枚数と人の数を同じに扱わない。

別解・許容 枚数と人数が一致しない可能性を、重複という語で説明してもよい。指定語を使い、発見の役割と割合の調査を区別する。

問8 条件を含む主張 解答例 76字

解答例：匿名の意見も言いにくい問題を知る入り口として受け取り、内容の具体的な根拠を調べて対策を判断すべきだが、意見の枚数をそのまま賛成者の数と考えてはならない。

解説 ③の主張に、①②の意義と⑤の限界を合わせる。匿名を全否定するまとめ、無条件で採用するまとめはいずれも合わない。

別解・許容 支持の広がりとは別の調査で確かめる、と表してもよい。匿名の意義、具体的な確認、枚数の扱いの三点を含める。

D よい取り組みの確かめ方

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点

問6～8は内容点の合計から、字数範囲外なら1点減点します。問8は指定語が一語でも欠けていれば、語数にかかわらずさらに1点減点します。各問の下限は0点です。

問1 論点〔10点〕

答え：ウ

解説 ①は期待と継続可能性を分け、⑤で効果と負担を確かめて方法を直すと述べる。食器はこの考えを説明する例である。

問2 根拠の読み取り〔10点〕

答え：ア

解説 ②は場所・水・衛生の手順・時間を挙げ、続けるために必要な条件を具体化している。本文には人気や毎年の記録の事実はない。

問3 反対意見〔10点〕

答え：エ

解説 ③のかぎカッコ内が、調べることによる行動の遅れを心配する反対意見である。

問4 根拠から言えること〔10点〕

答え：イ

解説 ④では効果だけで継続可能と判断せず、負担だけで価値を否定しない。問題を改善できるか検討する。

問5 対比する観点〔10点〕 14字

答え：それを支える人や資源への負担

解説 ⑤の「目的への効果と」に続き、もう一つの確認事項が述べられる。

採点の目安 指定の一続きの言葉を正確に抜き出して10点。

D よい取り組みの確かめ方

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点 | つづき

問6 反論の組み立て〔15点〕 解答例 51字

解答例：いくつかの店で実際に試しながら、ごみや水の量、作業時間を記録し、行動と調査を同時に進めようとしている。

解説 ③は調査だけを続けることを避け、小規模な実施から記録を得る方法を示している。

別解・許容 測る対象を効果と負担とまとめてもよい。店を限定して試すことと、記録を取ることの両方が必要。

採点の目安 ①いくつかの店で試す7点、②実施しながら効果・負担を記録する8点。

問7 理由説明〔15点〕 解答例 51字

解答例：次の担当者が同じ問題を避け、効果と負担を確かめて方法を直し、自分たちの条件で続けられるようにするため。

解説 ⑥の記録を④⑤の改善・継続の考えにつなげる。ごみの量を比べるだけでは不十分である。

別解・許容 前の工夫を参考に改善するという言い方もよい。次の担当者への継承と、条件に合う方法への改善を示す。

採点の目安 ①同じ問題を避け工夫を引き継ぐ7点、②自分たちの条件に合わせて改善・継続する8点。

問8 条件付き記述〔20点〕 解答例 67字

解答例：よい取り組みを続けるには、目的への効果だけでなく人や資源への負担も確かめ、小さく試した結果を基に方法や判断を更新していくことが大切だ。

解説 ⑤の主張を軸に、③の試行と④の改善を含める。食器についての賛否だけでは全体の主張にならない。

別解・許容 小さく試すことを、一部で実施する、試行するなどと表してよい。賛否を一度で固定せず、結果で改善する意味を保つ。

採点の目安 ①目的への効果を確認する6点、②人や資源への負担も確認する6点、③試した結果から方法・判断を更新する8点。

読み取りのポイント

効果だけ、負担だけで判断しない。小さく試して記録を残すことが、次の改善を支える。